

英作文：助動詞

助動詞を活用して表現に幅をもたせる

到達目標

この回では、英作文を書く上で、助動詞を用いる時の注意点や、一見助動詞を使えなさそうな日本語に対して助動詞を適用する際のポイントなどをチェックして、実践的で正しい助動詞の使い方を習得しよう。意味上はほぼ同じ内容を表せる場合でも、文脈上一方は適切で一方は不適切ということがあるのも、主観的な使い方をすることがままある、助動詞の大きな特徴である。今回は、下記の3つのポイントについて学習する。

- ①助動詞と過去
- ②助動詞を使うための解釈
- ③助動詞 need の注意点

GOAL 助動詞のつまりきポイントを把握し、正しく助動詞を使いこなせるようになる！

1 助動詞と過去

5分

助動詞を使って過去のことを表す際には、単純に助動詞の過去形を使えばOK、と考えていてはいけない。もちろんそれでよい場合もあるが、例えば、must のように過去形のない助動詞があるし、また、should のように shall の「過去形」でありながら、もっぱら現在の意味を表す助動詞もある。さらに、‘推量’の may の過去形 might にいたっては、過去の意味を表すことはなく、控えめな‘推量’を表すだけである。

そこで、例えば過去における‘推量’の意味を表すためには、‘助動詞 + have + 過去分詞’の形を用いる必要がある。また、「…すべきだった」のように、「**実際には過去に逆のことが起きたが、本当はこちらがよかった**」という意味合いを表したい時にも、この形を用いると便利である。助動詞の過去形から検討するよりも、この‘助動詞 + have + 過去分詞’から検討した方がうまく訳せる場合が多い。

Point

《1》過去のことを助動詞で表す時には、まず‘助動詞 + have + 過去分詞’を検討する。

例題

次の日本語の意味を表すように、下線部に適切な英語を書け。

(1) 僕はさぞぐっすり眠っていたに違いない。昨夜の地震も感じなかったからね。

I _____ deeply, for I didn't feel the earthquake last night.

(2) 列車の方がバスよりも速いし安かったんだよ。君も列車に乗るべきだったのに。

The train was faster and cheaper than the bus. You _____ the train, too.

解説

- (1) 「…していたに違いない」は、must を使って表せる‘推量’の意味合いだが、過去の内容であるので、‘must have 過去分詞’の形にする。「…していた」はある時点で継続していた動作なので、進行形で表す。
- (2) 「君も列車に乗るべきだった」という表現から、「君も列車に乗るべきである」という should で表せる内容を、過去のこととして表現する。ここには「君」は実際には列車ではなくバスに

次の日本語を英訳せよ。 (50点)

- (1) 我が国の天然資源が乏しいことに文句を言っても、どうにもなるものではない。むしろ、この不利な状況をできるだけ上手に利用することである。(20点)
- (2) 広告の目的は商品をなるべく多く売るだけでなく、新製品について有益な情報を大衆に伝えることである点を認めねばならない。そのうえ、主として広告主やスポンサーが払う金のために、新聞代が安くて済むし、興味あるテレビ番組を楽しめるわけである。(30点)

⇒この問題のヒントは、この回の添削問題の最後に掲載しています。

悩む問題があれば、ヒントを参考に解いてみましょう。

問題

次の日本語を英訳せよ。 (50点)

- (1) 我が国の天然資源が乏しいことに文句を言っても、どうにもなるものではない。むしろ、この不利な状況をできるだけ上手に利用することである。(20点)
- (2) 広告の目的は商品をなるべく多く売るだけでなく、新製品について有益な情報を大衆に伝えることである点を認めねばならない。そのうえ、主として広告主やスポンサーが払う金のために、新聞代が安くて済むし、興味あるテレビ番組を楽しめるわけである。(30点)

解答

- (1) Complaining about the few natural resources we have in Japan won't get us anywhere. Instead, we should make the best of this bad situation.
- (2) It must be admitted that the purpose of advertising is not only to sell as many products as possible, but also to give the public useful information on new products. Moreover, it is largely due to the money paid by advertisers and sponsors that we need not pay much for newspapers and can enjoy interesting television programs.

別解

- (1) It is no use complaining about the few natural resources in our country. Instead, we must try to make the best we can of this bad situation.
- (2) We must admit that advertisements are used to give people helpful information on new products, as well as to sell as many products as possible. In addition, the money paid by advertisers and sponsors is the main reason we pay so little for daily papers and can enjoy entertaining TV programs.

解説

- (1) **テーマ問題** 「…することである」の意味内容を考える

■組み立てのポイント

- 第1文は、日本語通りに「～に文句を言っても」を譲歩節で表し、「どうにもなるものではない」を表す節を続けてもよいが、「～に文句を言うこと」を主語にする無生物主語構文を用いると簡潔にまとめることができる。
- 第2文では、「むしろ」を「(文句を言うのではなく) その代わりに」と考えて instead を文頭に置き、主語を we として文を構成すればよい。「～をできるだけ上手に利用する」は make the best of ~ という慣用表現を利用するとよい。
- 第2文の「…することである」には、日本語の書き手の主張が表れているととらえることができる。そこで、「必修テーマ 英作文」の Point 《2》で見たように、この部分の意味内容を考えてみると、聞き手に対し具体的にどう行動すればよいか助言を行っている内容であるとわかるので、must (…すべきである) や

◀「必修テーマ 英作文」
Point 《2》を確認しよう。

should (…するとよい) のような**助動詞で簡潔に表現できる**ことに気づくだろう。

■ **語句・表現**

- 「(～について) 文句 [不平] を言う」 complain (about [of] ～)
- 「我が国の天然資源が乏しい」は「我が国における乏しい天然資源」として the few natural resources we have in Japan としたり、「我が国における天然資源の不足」として lack of natural resources in our country としたりして表現できる。
- 「どうにもなるものではない」は「役に立たない；無駄である」と読み換えて「～の役に立たない」の意の get ~ nowhere を用いるとよい。「文句を言うこと」を主語に complaining about ~ will get us nowhere [won't get us anywhere] (～について文句を言うことは私たちの役に立たない) と無生物主語構文で表現できる。主語を‘人’にして we won't [can't] get anywhere (by) complaining about ~ とする方法もある。また、「…することは無駄である」と考えて it is no use …ing などを用いてもよいだろう。
- 「この不利な状況をできるだけ上手に利用する」は「(乏しい天然資源しか持たないという) 悪条件の下で善処する」と考え make the best of this bad situation と表すとよい。また、前文の内容を受けて、「乏しい天然資源しか持たないがその持てるわずかな資源を活用する」と読み換えて、make the best use of what we have や make use of what we have as fully as possible としたり、fully utilize what resources we have などとしたりしてもよいだろう。

Warning

「我が国の」とあるとつい of を使いたくなるかもしれないが、ここは「我が国にある」という場所を示す表現なので、in が適切。前置詞についても、表すべき意味内容をよく考えて使うものを吟味しよう。



発展

この表現を押さえておこう！

☆ **make the best of ~** 「～ (=不満足な事情・条件) を何とかうまく切り抜ける」

Ex. We are stuck here so we might as well *make the best of it*. (我々はここから動けないので、その状況を最大限努力して乗り切ってはどうか。)

(2) **テーマ問題** 「安く済む」を英訳しやすく読み換える

■ **組み立てのポイント**

- 第1文では「…である点を認めねばならない」が主節になる。
方法1: it ~ that … の形式主語構文を用いて it must be admitted that … と表す。
- 方法2: we を主語に立てて we must admit that … と表す。
この that … 以下は「広告の目的はAだけでなくBである」が入る。
A = 「商品をなるべく多く売ること」

B = 「新製品について有益な情報を大衆に伝えること」

したがって the purpose of advertising is not only A but (also)

B の形にすればよい。A, B は to 不定詞にすればよい。

- 第2文は「新聞代が安く済み、興味あるテレビ番組を楽しめるのは、主として広告主やスポンサーが払う金のためである」という表現なので、it is ~ that … の強調構文が利用できる。「~のため」は‘目的’ではなく、‘原因・理由’の意である点を間違えてはならない。日本文最後の「わけである」は訳出する必要はない。
- 「新聞代が安く済む」「新聞代」は the subscription rate という言い方をするが、「新聞代」を直接訳すのは難しいだろう。また、「済む」という部分の意味内容を考えると、これは「新聞に多くを払う必要がない」ということなので、「**必修テーマ 英作文**」の **Point 《4》** でみたように、**否定文では助動詞の need が使え**、we need not pay much for newspapers と簡潔に表せる。we pay so little for ~ などとしてもよい。

■ 語句・表現

- 「広告」 advertising / advertisement
- 「商品をなるべく多く」は「なるべく多くの商品 (を)」と考えて、as many products as possible のようにする。
- 「~について有益な情報」 useful [helpful] information on [about] ~
- 「伝える」は convey, provide などが使えるが、give でも差しつかえない。
- 「大衆」 (the) public / the masses / people
- 「(広告主やスポンサーが払う) 金のために」は because of the money, thanks to the money としてもよいし、強調構文を用いて it is due to the money … that ~ のようにもできる。その他「金が主たる理由である」と考えれば the money is the main reason としてもよい。
- 「広告主」 advertiser
- 「スポンサー」 sponsor
- 「興味あるテレビ番組を楽しめる」 we can enjoy (watching) interesting TV programs

◀「必修テーマ 英作文」
Point 《4》を確認しよう。

⚠ Warning

possible の代わりに they can を用いることを思いついたかもしれないが、ここでは代名詞 they だと指すものが存在せず、‘総称’や‘権威’の they だと考えても合わない。ここでここでは使えない。こうした定型表現であっても、機械的に当てはめる前にその適切さを確認する必要がある。

英作文：助動詞

XEAP2A-Z1D3

総得点 40 / 50

3 XEAP2A-Z1C3

1
18 / 20

(1)

It is meaningless to complain about the lack of
resources of our country. Rather, we should use
this bad situation as well as possible.

① natural (-1)

② in (-1)

③ what we have (-0)

①「天然」の意を訳出しよう。

②「我が国にある天然資源」ということなので、前置詞は in が適切。

③文字通り英訳するとこのようになるが、use と situation の組み合わせがやや不自然。use (使う) の目的語としては、直接利用する「(乏しい)資源」や「我が国にあるもの (= 資源)」を置くのが適切。

英語

(※解答欄は裏面に続きます。)

2
22
30

(2)

We must admit ^{① the(-0)} the point that ^{② the(-1)} a purpose of
 advertisement is not only to sell products as many as
 possible, but also to ^{④ give(-0)} tell people helpful information ^{③ (-3)}
 about new products. Moreover, mainly because of ^{⑤ the(-1)} money
 paid by advertiser ^{⑥ s(-1)} and sponsor ^{⑥ s(-1)}, we needn't pay much
 for newspapers and we can enjoy interesting
 TV program. ^{⑦ s(-1)}

- ① pointは「(話などの)ポイント;要点」の意。ここでは「こと」という程度の意味合い。
- ②「個々の目的」としてとらえるのではなく、「広告一般の目的」として表したい。
- ③ as ~ as possibleの「~」には副詞・形容詞および形容詞を伴う名詞が入る。
 manyは通例, 限定用法で用いられ, 修飾する名詞の前に置かれる。
 したがって, as many products as possibleが正しい形。
- ④ informationについては, 事柄を伝える意味合いの強いtellよりもgiveが適する。
- ⑤ 特定のmoneyなのでtheが必要。
- ⑥ 可算名詞で, 複数いると考えられるので複数にする。
- ⑦ ここも可算名詞の複数にすべきところ。

<必修テーマの確認>

今回のテーマである「助動詞」について, 日本語の裏にある助動詞の意味合いをととてもよく汲み取れています。(1)の「...することである」や, (2)の「安くて済む」「楽しめる」などがそうですね。実践的な問題では, いかに関助動詞の意味合いを日本文から引き出すかがポイントになり得るので/今後も意識して取り組みましょう。